

CCSP 難易度

完全解説

最難関級の実態と合格・認定の全戦略

受験料 599 ドル・3年 90CPE の維持実態を解説



合格率非公開ってどう判断するでしょ？

序列と試験形式で測ればいい。





セキュリティプロ・フリーランス

登録・利用 完全無料



最高月収150万円

月額80万円以上の案件が

80%以上を占める高単価



リモート率80%以上

フルリモート対応可能案件多数

自由な働き方を実現



専門特化サポート

セキュリティ領域に精通した

専任エージェントが伴走



フリーランス案件マッチング

- ✓ 高単価案件から長期安定稼働の案件まで多数保有
- ✓ 脆弱性診断、SOC構築、ゼロトラスト導入など幅広い専門案件
- ✓ 面倒な営業活動・単価交渉・契約手続きは全て代行



キャリアサポート

- ✓ 業界に精通したエージェントがあなたの市場価値を最大化
- ✓ 独立支援（会社員から個人事業主、法人設立までサポート）
- ✓ 定期的な技術情報共有会、起業支援パックの提供



支払サイト

月末締め翌月払い (30日サイト)



案件参画スピード

2週間～1カ月程度

詳細を見る →

● 試験形式：125問・3時間・700点



試験の基本スペック

CBT 多肢選択式、125問・3時間・英語 / 日本語対応



合格ライン・変更点

1000点中700点。2024年8月に125問・3時間へ短縮



難易度の核心

700点は暗記でなく理解の深さを測る設計だ



● ISC2 資格の難易度序列

1

CC (入門)

セキュリティ基礎。無料で取得可能な入門資格

2

SSCP

技術者向け。実務経験 1 年以上が前提

3

CCSP

クラウド特化の上位資格。支援士と同等以上の難度

4

CISSP (最難関)

セキュリティ全般を横断。管理層も対象とした最上位

序列で見れば位置は一目瞭然だ。



● CCSP が難しい 3 つの理由



6 ドメインの広さ

設計から法務まで全体を横断した理解が必要



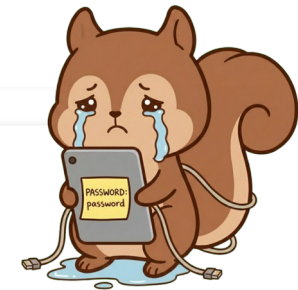
応用力が問われる

状況判断型の設問が中心。暗記では対応不可



認定の経験要件

IT5年・セキュリティ3年の実務証明が必要



3つは試験・思考法・認定と異なる層で機能する複合的な壁



● 6 ドメインの出題範囲



クラウド設計・データ・インフラ

設計思想・データセキュリティ・基盤の3領域をカバー



アプリ・運用・法令コンプライアンス

アプリ・運用・法務の3領域。ベンダー中立で体系的



広さの核心

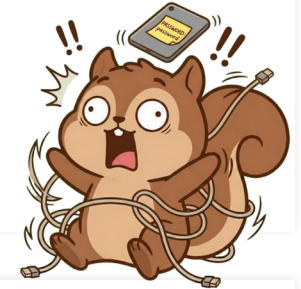
守備範囲の広さそのものが学習量と難易度を引き上げる

● 認定の実務経験要件



IT5年・セキュリティ3年

うち1年はCCSPの6ドメインのいずれかの経験が必要



準会員制度 (Associate)

経験不足でも合格後に最長6年の猶予で認定を目指せる



認定の核心

試験より認定要件のほうが高い壁になると覚えておけ

● CISSP vs CCSP : 何が違うか

CISSP

セキュリティ全般最難関

- ・ 情報セキュリティ全般を横断
- ・ 管理職・ CISO 層も対象
- ・ 8 ドメイン・ 広く深い出題

VS

CCSP

クラウド特化の上位資格

- ・ クラウドセキュリティに集中
- ・ 設計・ 運用の実務者向け
- ・ 6 ドメイン・ クラウドを深く問う



選択の軸

クラウド案件なら CCSP。幅広いマネジメントは CISSP から

● 情報処理安全確保支援士 vs CCSP

情報処理安全確保支援士



国家資格（日本）

合格率 15 ~ 19% 台（2024 年度）



日本語のみ

国内での信用力・法的な認知が高い



維持コスト低め

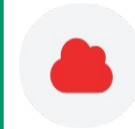
登録・講習費用。年会費なし

CCSP



国際資格

英語・日本語対応、合格率非公開



グローバル対応

クラウド案件・海外展開に強い



維持コスト高め

年会費 135 ドル + 3 年 90CPE 必要



● 勉強時間の目安



クラウド実務経験あり

100 ~ 200 時間が目安。実務感覚で解答の勘所をつかみやすい



クラウド未経験

300 ~ 400 時間。AWS など基礎学習を先に済ませると安全



計画の核心

現在地を正直に見積もることが計画精度を左右する

● 独学の学習ステップ4つ

1

全体像を通読

公式ガイドで6ドメインの構造と全体像を把握する

2

要点を要約

各ドメインの要点を自分の言葉でノートにまとめる

3

模擬問題を解く

間違いの「なぜ」を言語化して思考法を積み上げる

4

判断精度を高める

状況判断型の設問に慣れ、消去法の精度を鍛える

丸暗記は通用しない。理由を積み。



● 受験料と資格維持の費用



受験料 599 ドル・年会費 135

CISSP 等との複数保有でも年会費は 135 ドルで一律



CPE90 クレジット (3年)

未達成で資格失効。カンファレンス参加等で取得可能



費用の本質

維持費より継続学習義務が長期投資の本当のコストだ

● 取得後のキャリアと案件単価



正社員での評価

クラウドセキュリティ設計を担える人材として転職市場で有利



フリーランス案件単価

設計・構築の上流工程の高単価案件へ参画しやすくなる



資格の核心

ベンダー中立の専門性がマルチクラウド案件での評価を高める

● まとめ



試験は 125 問・3 時間、1000 点中 700 点が合格ライン（2024 年 8 月短縮）



難しさの核心は 6 ドメインの広さ・応用力・IT5 年の認定要件の 3 つ



取得後はクラウドセキュリティ設計の高単価案件に繋がりがやすい

NEXT ACTION

まずは市場価値の無料相談・登録

[セキュリティプロ・フリーランス >](#)

